

第10号の発刊にあたって

神奈川県 理事（兼）政策局長

大 竹 准 一

『政策研究・大学連携センター』は、①県の政策立案・遂行を支援する調査分析、そして、②県内大学との連携の総合窓口、という2つの機能を担っています。『かながわ政策研究・大学連携ジャーナル』は、そうした当センターの活動を県内外に広く発信すべく、平成23年3月に創刊されましたが、おかげさまで、ひとつの節目ともなる第10号を今般発刊することが出来ました。

これまでの当センターの活動ならびにジャーナルの発行に関し、多方面から多大なる御教示や御協力をいただきましたことを、心から御礼申し上げます。

さて、本ジャーナル（10号）においては、当センターの担う上記二つの機能に即して、関心の高いと思われる課題について幅広く情報提供しています。

まずは、「リケジョのすすめ」と題して、主に理系分野における女性研究者の活躍推進に関する取組みの特集を組んでいます。安倍内閣では、女性が一層活躍できるような社会基盤の整備を広くすすめており、本年4月には「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が施行されたところです。本県でも昨年11月に、「かながわ女性の活躍応援団」を企業の皆さんと結成し、女性の活躍を推進しているところです。本特集では、行政、大学、企業等における様々な取組みについて紹介しています。

また、調査報告としては、これも政策的な課題として最近取り上げられることの多い「性的マイノリティの支援」について、生活場面や主体（自治体、支援団体等）別に対応策の整理を試みています。

本ジャーナルが、県内外の多くの方々にとって役立つものとなれば幸いです。